

大 きくなって帰ってきて ～ウミガメ産卵場所の海岸を清掃～

8月12日、ウミガメの保護を図るために活動しているウミガメ保護監視員頼娃東部地区（FCえいスポーツ少年団 育成会長：佃直人さん）の親子約50人が海岸の清掃を行いました。作業は今年6月に前原海岸で、ウミガメの産卵が確認された場所を中心に、孵化して砂浜に出てきた子ガメたちが迷わず海へ出られるよう、また大きくなってこの海岸に帰ってくることを願って行いました。



▲子ガメが大きくなって帰ってこられるように清掃する子どもたち

新 しい旅行スタイル！ ～オンラインバスツアー実施～

自宅にいながら旅行気分を体験できる新しい旅行スタイルとして、インターネットを活用したオンラインバスツアーを8月から9月にかけて6回行いました。どのツアーも定員を上回る好評ぶり、応募者は現地のガイドの方と会話を楽しみながら市内の観光地などを巡り、事前に送られた特産品に舌鼓を打っていました。参加者からは「コロナが収束したら実際に南九州市に足を運びたい」との感想が寄せられました。



▲現地ガイドからの観光案内と会話を楽しんでいるオンラインバスツアーの様子

平 和と歴史を学びました！ ～夏休みの野外活動～

8月11日、知覧平和っこ児童クラブの子どもたち44人が、「ホテル館 富屋食堂」と「知覧武家屋敷西郷恵一郎庭園」で平和と歴史学習をしました。西郷邸では、知覧武家屋敷庭園代表の森さんの説明を聞き、西郷邸室内に飾ってある2体の甲冑と写真撮影をしました。自分たちの住んでいる町の「大切な場所」を学ぶとても充実した夏休みの野外活動でした。



▲森さんの説明を聞き、歴史を学ぶ子どもたち

風 鈴の音色でおもてなし ～知覧武家屋敷庭園内藤棚公園～

8月8日と9日、南九州市観光協会が知覧武家屋敷庭園内藤棚公園に設置した風鈴の下で、冷たい知覧茶とお菓子の振る舞いを行いました。2日間で県内外から約400人のお客様が来場し、藤棚の木陰で風鈴の音色を聞きながら、ゆったりとした時間を過ごしていました。また、知覧山野草会のご協力もいただき、夏の苔玉展示も一緒に行いました。



▲藤棚の木陰で風鈴の音色を聞きながらくつろぐ観光客の方々

折りたたみベンチ作ったよ ～夏休み木工教室開催～

8月4日、南九州市みどりの推進協議会主催の夏休み木工教室がアグリランドえいにおいて開催されました。79人の親子が参加し、指導を受けて折りたたみベンチを作製しました。青空の下、普段なかなか使う機会のない工具や木材に触れながら無事に作り上げて、皆さん嬉しそうでした。例年より短い夏休みのいい思い出になりました。



▲折りたたみベンチを作製した子どもたち

手作りマスクを寄贈 ～市女性連から高校生クラブへ～

市地域女性団体連絡協議会から市高校生クラブへ、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、手作りマスク40枚が8月1日の南九州市高校生クラブ「ふるさと大会」のボランティア活動の開会式で高校生クラブ会員へ直接手渡されました。コロナ禍の状況下、貴重な世代間交流の場となりました。



▲市女性連からマスクを受け取る高校生クラブの方々

南薩縦貫道に街路灯を寄贈 ～幸和運輸株式会社より～

8月20日、南薩縦貫道（知覧道路）取違交差点に街路灯2基を寄贈した本市に本社を置く幸和運輸株式会社に市長が感謝状を贈呈しました。夜間暗く見えなかった交差点が、街路灯の設置により明るくなり横断歩行者が安心して渡れるようになりました。幸和運輸の田中昭二社長は「運送事業者として道路を幅広く利用させていただいており、今後も地域に貢献できるよう努めたい」と述べました。



▲市長から感謝状を受け取る幸和運輸の田中社長（左）

姉妹館提携リモート締結式 ～知覧特攻平和会館と戦艦ミズーリ記念館～

8月15日、知覧特攻平和会館は米国ハワイ州真珠湾にある戦艦ミズーリ記念館との姉妹館提携を締結しました。当初は、共同企画による特攻に関する展示「KAMIKAZE展」リニューアルオープンに合わせてハワイで行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期になっていました。そこで、リモート締結式を開催し、戦争を語り継ぎ平和を守る取り組みを進めていくことを誓いました。



▲互いに戦争を語り継ぎ平和を守る取り組みを誓いました